科目名	英語基礎Ａ　Basic English Ａ　（英語Ａ）						
科目担当者	徳地 慎二　TOKUCHI Shinji						
単位数	2	配当年次	1	授業形態	講義	開講学期	前期
履修学部・学科［区分］	法学部・法律学科［総合教育科目　総合講座］ 経営学部・経営学科［総合教育科目　総合講座］					ディプロマポリシーとの関連	(1)(4)
授業の概要	英語は今や、世界の共通語としてその地位を築き上げています。私たちが日々利用するインターネットも、全情報量の８割以上が英語であるとも言われています。また日本国内に目を向けても、社内の公用語を英語にしている企業も見られます。グローバル化の時代において、英語の重要性はますます高まっていくことでしょう。 そこで本授業では、英語の基本となる「文法・語法・語彙力」および「情報検索能力」の向上に特化した授業を行います。高等学校までの既習事項を踏まえつつ、文法力をさらに伸ばし、英語学習に必要な文法力を身につけていってほしいと思います。そのためにも、予習や復習、小テスト勉強を積極的に行うようにしてください。						
授業の到達目標	①　英文法についての知識を身につけ、状況に応じて正しく使うことができるようになる。 ②　平易な英文を読み、状況に応じて正しく理解することができるようになる。						

授業計画・内容		
	1	Unit 1 一般動詞と be 動詞（現在形）: 文法復習
	2	Unit 1 一般動詞と be 動詞（現在形）: 発展演習 B
	3	Unit 2 一般動詞と be 動詞（過去形）: 文法復習・演習 A
	4	Unit 2 一般動詞と be 動詞（過去形）: 発展演習 B
	5	Unit 3 疑問文: 文法復習・演習 A
	6	Unit 3 疑問文: 発展演習 B・
	7	Unit 4 否定文: 文法復習・演習 A
	8	Unit 4 否定文: 発展演習 B
	9	Unit 5 文型と文の要素: 演習 A
	10	Unit 5 文型と文の要素: 発展演習 B
	11	Unit 6 進行形: 文法復習・演習 A
	12	Unit 6 進行形: 発展演習 B
	13	Unit 7 受動態: 文法復習・演習 A
	14	Unit 7 受動態: 発展演習 B
	15	前期の総復習

授業外学修 (事前学修)	①　事前に指定した予習を行い、授業に参加してもらいます。 ②　必要に応じて Moodle に課題を提出して授業に臨んでもらいます。 ③　必要に応じて配布するプリント学習を行ってもらいます。 （毎週 2 時間程度）
授業外学修 (事後学修)	①　学習した内容を復習し、質問がある場合は moodle 上の質問コーナーに書き込む。 ②　次週の予習を行う。 ③　1 か月に 1 回、実施予定の小テストの準備を行う。 （毎週 2 時間程度）

成績評価方法・評価比率・到達目標との対応	成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
	Moodle 上への課題提出（成績の優劣は問わない）及び授業に積極的に参加する姿勢	30%	①②
	小テスト	20%	①②
	筆記試験	50%	①②

成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合
教科書	*Laugh and Learn – Back to the Basics*, Keiko Kimura 他著）南雲堂
参考文献	英文法解説書（中学・高校で使用していたもので可）
その他	・授業には必ず英和辞典を持参すること（電子辞書可）。 ・その他、授業の詳細については、授業担当者の指示に従うこと。